



# 至誠

勝田第三中学校 学校だより 第6号  
令和6年6月12日(水)発行  
文責:校長 川上徹行



勝田三中HP

## 総体壮行会が開かれ、各部とも検討を誓う！！

早いもので来週から県民総合体育大会の試合が、開始されます。各運動部とも、日頃からの取組の成果を発揮する場です。これまでの練習の中で培った技術、様々な大会、記録会で身に付けた自信をもとに、もてる力を十二分に生かして、結果を残してほしいと思っています。今後の練習時間はもちろんのこと、総体での試合を通して、力を伸ばせます。絶対にあきらめずに、戦い抜いてほしいと願っています。子供たちが高いパフォーマンスを発揮できるよう、保護者並びに関係者の皆様のサポートを、よろしく願いいたします。(以下は壮行会での私の話です。) ※ 試合日程は、本校HP↓をクリックしてください。「<https://hitachinaka.schoolweb.ne.jp/swas/index.php?id=0820011&frame=frm5ecf3c0f1c094>」



こうした壮行会、いいですね。これまで地道に努力を続けてきた選手の皆さんはもちろんのこと、準備して下さった、支えて下さっている多くの生徒のみなさん、保護者のみなさん、顧問の先生をはじめとする指導者のみなさん、地域の方に感謝いたします。

選手のみならず、緊張感をただよわせながら入場し、目標を伝えていましたね。並々ならぬ意欲を感じます。また、送り出す生徒のみなさん、とても気持ちのこもった応援でした。美術部のメッセージ吹奏楽の演奏も素晴らしいです。企画運営をしてくれた生徒会役員の皆さんも、忙しい中ありがとうございます。この壮行会をみて、改めて三中生素晴らしい、と感じました。

さて、勝負事は厳しい現実を突きつけます。勝てば天国、負ければ…、かもしれません。しかし、この観点のみで判断すると、最終的に一人、一チームしか勝ちません。それ以外の人たち、チームは価値がなかったこととなります。わたしは、こうした他者と比べるというものの見方だけでなく、自分を、自分たちをどこまで高められたかという見方が大切であると考えます。しかし、こうした節目では、もちろん、勝ち負けにこだわって、結果も残してほしいという思いが強いです。

「**やってみなければ、わからない**」 私が各部のみなさんによく言うことばです。やる前から、決めつけてはいけません。同じ中学生、他校の選手との差はありません。あってもほんのわずか。みんなで力を結集したり、協力したりすることで、ひっくり返せます。挽回できます。生徒会の掲げるスローガン「**戮力協心 Never Give Up**」も、力を結集し、心を一つに目標へと向かう、ことです。

新人戦、思うような結果がでなかったチームや選手もいたと思います。その悔しい経験も生かし、総体での成長・活躍につなげてほしいと願っています。

【各部の入場や決意表明の様子(美術部・吹奏楽部のみなさん、ありがとうございました。)]

